

## 環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

『環境基本方針』

当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

1. 当社は、地域社会と協調し、対話を大切に、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
2. 当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
3. 定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4. 当社の事業活動に関係する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
5. 当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
6. 環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
7. 環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、社外からの要求、その他必要に応じて公表します。

改定 2008年4月1日

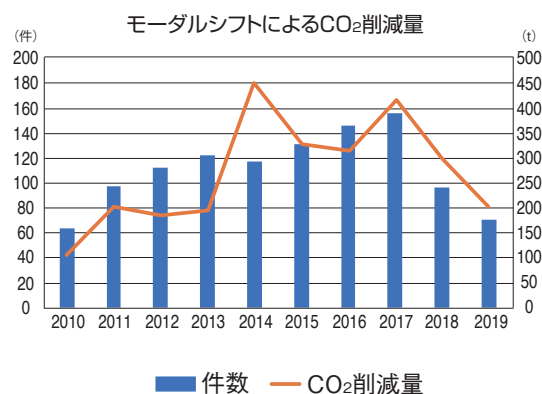
## 事業活動における環境負荷(福井工場)



照明のLED化などCO<sub>2</sub>排出量削減のための活動を進めていますが、高付加価値製品の生産増により原単位としては減少していません。CO<sub>2</sub>排出量削減のため、再生可能エネルギーの導入、グリーン電力の購入などの調査、研究を進めます。

## 地球温暖化防止への取り組み

お客様の理解をいただき出来る限りJRコンテナ便の利用を進めてきましたが、2019年度は2018年度をさらに下回りました。近年は出荷形態も変わりつつありチャーターによる大口出荷が少なくなり、JRコンテナの使用機会も減少しました。



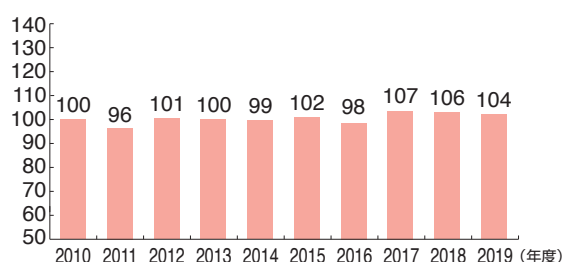
## エネルギー消費量とCO<sub>2</sub>排出量

2019年度は、10月以降生産数量が減少に転じたものの、原単位で2018年度とほぼ同等となりました。ただし、エネルギー別でみるとA重油の消費が14.1%増となり、削減のための取り組みが不十分でした。省エネの取り組みとして、生産設備へのインバーターの導入、照明のLED化を進めましたが、他設備へのインバーターの導入、工場建屋照明のLED化など進捗が遅れた案件もありました。

省エネ設備の積極的・計画的な導入を、2020年度以降も継続して進めていきます。

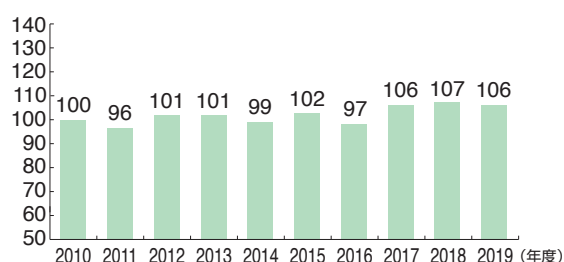
### エネルギー消費量原単位推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



### CO<sub>2</sub>排出量原単位推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。

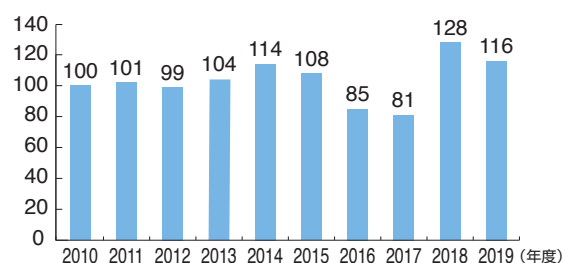


## 廃棄物削減への取り組み

生産数量の減少に伴い、最終処分廃棄物量、リサイクル・リユース量が減少しています。より細かな分別回収を行うことによるリサイクル化を推進してきましたが、まだ埋立・焼却処理などの排出物が多いため、廃棄物再生によるリユース化への取り組みを検討しています。

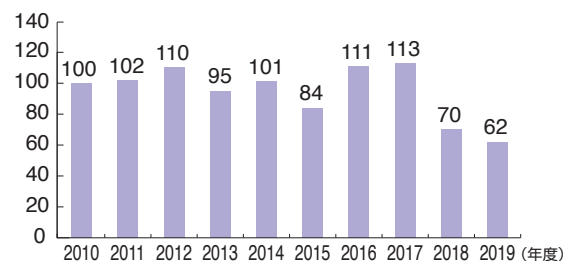
### 最終処分廃棄物量推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



### リサイクル・リユース量推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



## PRTR法への対応

2019年度のPRTR対象物質の取扱量は2018年度よりも原単位比で約10%減となりました。

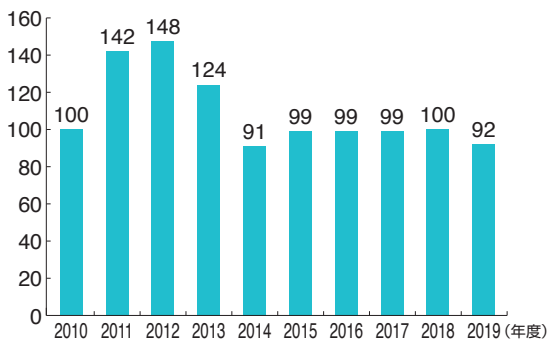
一部の製品で脱DOP（フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)）の動きが進んだことが影響していると考えられます。2020年度はさらに脱DOP化を進める計画となっています。

全体の取扱量の減少にともない、移動量も減っていますが、排出量は逆に増加傾向にあります。

これは、トルエンやN,N-ジメチルホルムアミドなどの溶剤を使用する加工が増加傾向であることと関連しています。

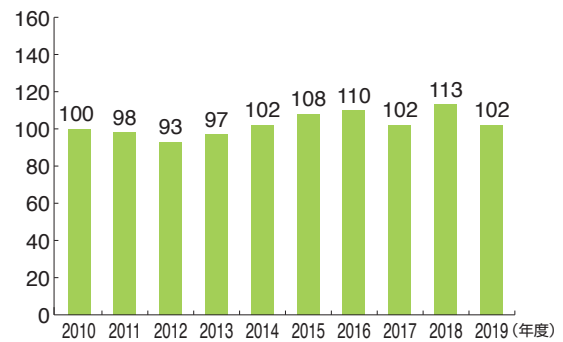
PRTR対象物質移動量推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



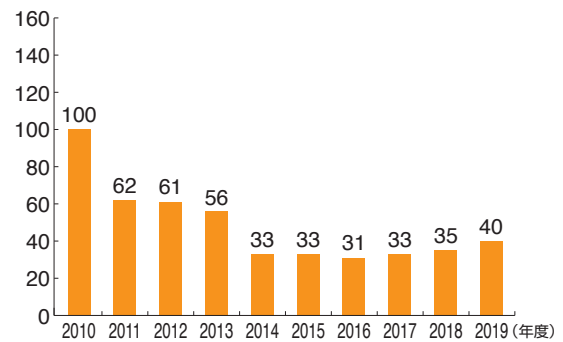
PRTR対象物質取扱量推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



PRTR対象物質排出量推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



## 環境負荷低減製品開発への取り組み

環境配慮の指標として、環境先進地域である欧州の製品含有化学物質規制（RoHS、REACH）に沿った製品設計をお客様から要望されることが多くなりました。

新製品はもとより、既存製品についても、順次使用化学物質の改善を実施しております。

また、製品の長寿命化（防汚性、耐候性、耐久性）の改善も進めております。

## グリーン推進活動

2019年度も第10回ニチバン巻心ECOプロジェクトに参加し感謝状をいただきました。今後も継続して活動を行ってまいります。

10月25日～27日には「さばえものづくり博覧会2019」に出展しました。

これは当社福井工場の所在地である鯖江市がSDGsをテーマとして開催した博覧会で、当社も参加しました。

当社では、最近注目されているSDGsをコンセプトに防災関連商品の展示やCSR活動の啓蒙などを行いました。



カンボウプラスは事業所周辺の美化活動を継続的に実施しています。近年では大阪マラソンの開催にともない、「大阪マラソンのクリーンUP作戦」に毎年参加しています。6月28日・29日に開催されたG20大阪サミットにともない、「G20大阪サミットクリーンUP作戦」にも参加しました。また、福井工場でも清掃を行っています。

